



日本歯科先端技術研究所 近畿・北陸地区

# 2014年度 学術講演会のご案内



## ■大会長

日本歯科先端技術研究所  
副会長／近畿・北陸地区会長

**森本 恭司**



## ■実行委員長

日本歯科先端技術研究所  
近畿・北陸地区会員

**安達 郁 (大阪)**

### 学術講演会 特別講演

## 「欠損歯列を有する患者の歯科治療」—審美と機能の調和—



### 白鳥 清人

#### 略歴

1985年 東京歯科大学卒業

1988年 白鳥歯科医院 開業

2003年 白鳥歯科インプラントセンター開業

2004年 東京歯科大学大学院歯学研究科(病理学)修了

#### 現在

白鳥歯科インプラントセンター所長

昭和大学歯学部顎口腔疾患制御外科学兼任講師

九州大学大学院口腔機能修復学講座

クラウンブリッジ補綴学分野非常勤講師

日本口腔インプラント学会専門医

他、多数所属

インプラント治療が臨床応用されるようになって50年が経過しようとしている。この間の長期臨床報告と昨今のインプラント治療の進歩により、欠損歯列の治療オプションとしてインプラント治療が第一の選択となることが多くなってきた。また、情報社会の中、患者からもインプラント治療を希望されることが多くなってきている。しかし、その反面、インプラント周囲炎の問題も最近では多く報告され、また、インプラント治療の失敗や危険性がマスコミでもクローズアップされることが多くなってきた。これらは、この「インプラント治療」の普及の背景であり、歯科医療の提供側の我々歯科医師は、もう一度、原点に立ち戻り、インプラント治療の原理原則を理解し、エビデンスに則った治療を実践して行かなくてはならない。また、患者の要求も様々であり、その優先順位の違い、術者の知識と技量、臨床経験の差、そして、治療の成功の裏側にも、長期の治療期間、大きな外科侵襲、偶発症の発生などの問題もあり、画一的な治療方法を示すことは難しい。今回の講演では、インプラントの適応症例、診査診断方法、CTおよびシュミレーションソフトの応用、ガイドドサージェリー、審美インプラント治療、即時負荷、抜歯即時埋入、サイナスへの対応、骨欠損部への対応、インプラント周囲炎、インプラント補綴、CAD/CAMの応用などキーワードは多くあるが、より安全に、より低侵襲に、そして長期的に安定するために、欠損歯列を有する患者の歯科治療はどうあるべきか、失敗症例も含め、出来るだけ多くの臨床症例を示しながら、考えてみたい。

■日 時 平成27年2月22日(日) 学術講演会 特別講演 10:00 ~ 13:30

■会 場 ホテルニューオータニ大阪 2F 鳳凰の間

大阪市中央区城見 1-4-1 TEL: 06-6941-1111

■受講料 会員無料 / 非会員 5,000 円 (招待者 無料)

お申込・お問い合わせ先

**日先研近北地区**

TEL: 072-223-8776 FAX: 072-222-8447(担当) 村田

(公社) 日本歯科先端技術研究所 近畿・北陸地区 2014年度 学術講演会 申込書

FAX: 072-222-8447

氏名:	勤務先:	
住所:		
TEL:	FAX:	e-mail: